

資料7-2

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
ISS・国際宇宙探査小委員会
(第7回)H26.9.26

国際協力，外交・安全保障の観点からの ISS・国際宇宙探査の意義について

平成26年 9月26日(金)

外務省

総合外交政策局 宇宙室

1. 宇宙をめぐる状況と我が国の宇宙外交
2. 国際協力, 外交・安全保障の観点からの
ISS, 国際宇宙探査の意義
 - (1) 国際協力の重要なツール
 - (2) 外交における発言力の維持・強化
 - (3) 安全保障
3. ISS, 国際宇宙探査に関する今後の議論

1. 宇宙をめぐる状況と我が国の宇宙外交

●宇宙**技術の進歩**と民生・安全保障の両分野における**利用の拡大**(50カ国以上の衛星保有国)

⇒宇宙空間の**脆弱性とリスクの増大**(スペースデブリ, 対衛星攻撃(ASAT)実験等)

⇒我が国の安全を保障し, 安定的な経済・社会活動を維持・発展させる上で
宇宙空間の平和と安定を保持することは必要不可欠。

<宇宙外交に係る具体的取組>

①宇宙空間活用に関する**国際的な規範づくり**(民生・安全保障両分野)

- 宇宙活動に関する国際行動規範
- 国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)におけるルールメイキング

②宇宙をめぐる**国際協力の推進**

- バイ・マルチでの国際協力及び対話の推進
- 地球規模課題への取組に貢献(気候変動, 防災, 森林保全, 資源・エネルギー等)
- ODA等も活用しつつ, 我が国の衛星・地上設備を新興国に展開し新たな市場を創出

③**宇宙安全保障の確保**

- 他国の宇宙活動の透明性確保, 安全保障分野における一層の宇宙利用

2. 国際協力, 外交・安全保障の観点からの ISS, 国際宇宙探査の意義

(1) 国際協力の重要な資産(アセット)

- 宇宙における活動は, 規模・範囲ともに拡大。さらなる進歩のためには, 米露を含め, 各国協力体制が必要不可欠(例:ISS, 安全保障分野における日米協力(SSA等))
- ISSにおける「きぼう」の利用, 災害時の衛星画像提供(センチネル・アジア)等, 我が国が有する資産は国際協力の重要なツール。

⇒世界有数の経済力と技術力を誇る我が国への信頼と期待は大。

日本外交上の重要なアセットの1つ。



日・ブラジル首脳会談
(写真提供:内閣広報室)



H-IIAロケット
(写真提供:JAXA)



若田宇宙飛行士
(写真提供:JAXA)

2. 国際協力, 外交・安全保障の観点からの ISS, 国際宇宙探査の意義

(2) 宇宙外交における発言力の維持・強化

●日本が培ってきた宇宙関連技術, ISSにおける国際協力, 若田宇宙飛行士の活躍等の
ソフトパワー

⇒現在の宇宙分野における日本の発言力の源泉(国際社会からの信頼の獲得)

⇒国際的な規範づくりにあたっての重要な資産



国際宇宙探査フォーラム(ISEF)
開会式での日本政府代表挨拶
(写真提供:文部科学省)



国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)
「宇宙と女性50周年記念パネル」での
向井宇宙飛行士の登壇

2. 国際協力, 外交・安全保障の観点からの ISS, 国際宇宙探査の意義

(3) 安全保障

- **日米協力の新たな戦略的領域**(2013年10月日米安全保障協議委員会(「2+2」))

<仮訳>日米安全保障協議委員会共同発表(抜粋)

II 二国間の安全保障及び防衛協力

閣僚は、引き続き同盟を深化させることを誓い、将来にわたって同盟の信頼性を確実なものとするため、力強い取組を進めるよう指示した。同盟に関する広範な課題について協力を拡大するために両国が取り組むべきものとしては、日米防衛協力のための指針の見直し、弾道ミサイル防衛の能力の拡大、宇宙及びサイバー空間といった新たな戦略的領域における協力の向上、情報保全及び装備取得に関する連携の強化等が挙げられる。

- 我が国の宇宙活動能力の確保, 各国と協力を行う上で不可欠な技術的基盤の維持が必要(**自律性の確保**)



日米「2+2」閣僚会合

3. ISS, 国際宇宙探査に関する今後の議論

国際宇宙探査フォーラム(ISEF)本邦開催(2016年又は2017年)

※2014年1月9日, 米国は, 宇宙探査における国際協力への政治的支持を確立するため, 初めての閣僚級会合となるISEFを開催。35の国や国際機関, 宇宙機関などが参加。

(1) 我が国の宇宙探査に関する方針

(2) 今後の国際宇宙探査を進めるにあたって必要な枠組みの検討

国家安全保障戦略（NSS）における宇宙に関する主な言及（抜粋）

I 策定の趣旨

（略）また、本戦略は、国家安全保障に関する基本方針として、海洋、宇宙、サイバー、政府開発援助（ODA）、エネルギー等国家安全保障に関連する分野の政策に指針を与えるものである。

III 我が国を取り巻く安全保障環境と国家安全保障上の課題

1 グローバルな安全保障環境と課題

（4）国際公共財（グローバルコモンズ）に関するリスク

近年、海洋、宇宙空間、サイバー空間といった国際公共財（グローバル・コモンズ）に対する自由なアクセス及びその活用を妨げるリスクが拡散し、深刻化している。

（中略）また、宇宙空間やサイバー空間においては、各国間の立場の違いにより、適用されるべき規範の確立が発展途上にある。こうしたリスクに効果的に対処するため、適切な国際的ルール作りを進め、当該ルールを尊重しつつ国際社会が協力して取り組むことが、経済の発展のみならず安全保障の観点からも一層重要な課題となっている。

（略）宇宙空間は、これまでも民生分野で活用されてきているが、情報収集や警戒監視機能の強化、軍事のための通信手段の確保等、近年は安全保障上も、その重要性が著しく増大している。

他方、宇宙利用国の増加に伴って宇宙空間の混雑化が進んでおり、衛星破壊実験や人工衛星同士の衝突等による宇宙ゴミ（スペースデブリ）の増加、対衛星兵器の開発の動きを始めとして、持続的かつ安定的な宇宙空間の利用を妨げるリスクが存在している。

国家安全保障戦略（NSS）における宇宙に関する主な言及（抜粋）（2）

IV 我が国がとるべき国家安全保障上の戦略的アプローチ

1 我が国の能力・役割の強化・拡大

（9）宇宙空間の安定的利用の確保及び安全保障分野での活用の推進

宇宙空間の安定的利用を図ることは、国民生活や経済にとって必要不可欠であるのみならず、国家安全保障においても重要である。宇宙開発利用を支える科学技術や産業基盤の維持向上を図るとともに、安全保障上の観点から、宇宙空間の活用を推進する。

特に情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。また、自衛隊の部隊の運用、情報の収集・分析、海洋の監視、情報通信、測位といった分野において、我が国等が保有する各種の衛星の有効活用を図るとともに、宇宙空間の状況監視体制の確立を図る。

また、衛星製造技術等の宇宙開発利用を支える技術を含め、宇宙開発利用の推進に当たっては、中長期的な観点から、国家安全保障に資するように配慮するものとする。

4 国際社会の平和と安定のための国際的努力への積極的寄与

（2）法の支配の強化

特に海洋、宇宙空間及びサイバー空間における法の支配の実現・強化について、関心を共有する国々との政策協議を進めつつ、国際規範形成や、各国間の信頼醸成措置に向けた動きに積極的に関与する。また、開発途上国の能力構築に一層寄与する。

— 宇宙空間については、自由なアクセス及び活用を確保することが重要であるとの考え方に基づき、衛星破壊実験の防止や衛星衝突の回避を目的とする国際行動規範策定に向けた努力に積極的に参加し、宇宙空間の安全かつ安定的な利用の確保を図る。